

# 笠取峠の松並木~ 芦田宿~茂田井間の宿

## 立科町 (昭和33年(1958)町制施行)


昭和30年(1955)芦田村、横鳥村、三都和村の三村が合併し、立科町が誕生して55周年(平成22年・2010)を迎えた立科町は、山紫水明の風光明媚な山村として、豊かな自然に育まれた人々が静かに暮らす農村地帯です。蓼科山麓から湧き出る恵の水は、質の高い農産物(水稲・リンゴ・牛肉・豚肉など)を生み出し、大地と人々を育み、潤しています。

当町の南端に位置する蓼科山や八ヶヶ峰、女神湖や白樺湖を中心としたリゾート地は、八ヶヶ峰中信高原国立公園内に位置する自然豊かな高原地帯として、四季折々の景観と癒しの空間を満喫いただけます。自然との調和、共生を意識した静かな別荘地域や宿泊施設、飲食店などが、お越しいただいた皆様をおもてなし致します。

大庭史跡公園をはじめ、数々の住居址や祭祀遺跡を有する歴史と浪漫に育まれた文化の香り漂う地域として、太古の昔から続く先人の営みに感謝しながら、人と自然が輝く町づくりを目指しています。

### 権現山運動公園

野球場・多目的グラウンド・屋内運動場・マレットゴルフ場(27ホール)・テニスコート(4面)・体育センターを有する当町の総合運動施設。風の子広場・権現の湯・子ども未来館(児童館)も隣接し、幅広い世代の皆さんに楽しんでいただけるエリアとなっています。※施設のご利用等は教育委員会へお問い合わせください。TEL0267(56)2311



明治の教育者、保科五無斎の学び舎

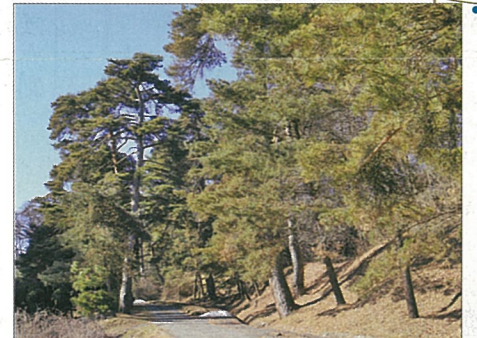
### 津金寺

8月1日の夜観音縁日は、地域を代表する伝統行事として親しまれ、ボンボリの灯りが風情を醸し出す。



### 笠取峠の松並木(県天然記念物)

約1kmにわたる並木は、時代の変遷と旅人を見守り、今日に至る。



### 笠取峠一里塚

江戸から数えて43番目、頂上手前の北側に標柱と説明板。



### 笠取峠(頂上)

江戸時代には峠の頂上に小松屋という茶屋があり、旅人の疲れを癒した。




笠取峠の松並木(県天然記念物) 約1kmにわたる並木は、時代の変遷と旅人を見守り、今日に至る。

笠取峠一里塚 江戸から数えて43番目、頂上手前の北側に標柱と説明板。

笠取峠(頂上) 江戸時代には峠の頂上に小松屋という茶屋があり、旅人の疲れを癒した。

### 桜広場 (桜と紅葉の見どころ)

桜広場と松並木 四季折々の風景が楽しめる場所。



### 古町のしだれ桜

県道西側の小高い丘に咲くしだれ桜の古木。



### 神代杉

蓼科神社の御神木で、県下巨樹十指に数えられる。



### 旧芦田宿本陣

寛政12年(1800)に建て替えられた客殿が、当時の面影を色濃く残している。写真は入口の長屋門。



### 光徳寺

この一帯を治めた武士芦田氏の菩提寺。不開門の彫刻(立川流)は見事なもの。



### 茂田井の桜並木

茂田井の桜並木(至立科ゴルフ倶楽部)



### 大庭史跡公園

縄文中期から平安時代にかけての住居跡が確認された複数期にわたる遺跡で、発掘後に住居を復元。



### 光徳寺のしだれ桜

県道から見えるしだれ桜は美しい花を咲かせる古木。



### 無量寺

長保5年(1003)創建と伝えられる旧寺、表情が異なる六地藏は貴重な石造物。



### 大庭史跡公園

大庭史跡公園から見る浅間連山と田園風景



### 芦田城跡

当町を代表する中世の山城。城主は芦田(依田)氏。



### 松尾芭蕉句碑

山路来て 何やらゆかし すみれ草



## 茂田井間の宿

茂田井間の宿は芦田宿と望月宿の間に位置し、大名行列など双方の宿場の加宿としての役割を果たし、多くの旅人の疲れを癒してきました。中山道の街道筋は江戸時代後期から明治時代初期の情緒ある風情を色濃く残しており、往時を偲ぶる雰囲気十分に満喫できる貴重な町並みとして、地域住民の熱意により大切に保存されています。

無量寺(鐘楼)や諏訪神社(本殿)には、地元出身の立川流宮大工田中円蔵の彫刻が施されるなど、貴重な文化財を有する神社仏閣を有し、古くから歴史と文化が育まれた地域でもあります。

宿場内には水路が流れ、地域住民の手による案内板や説明板が置かれ、2軒の造り酒屋が並列するなど、ゆったりと時間が流れるくつろぎの空間を楽しんでいただけます。

※別冊の茂田井間の宿パンフレットもご活用ください。

### 茂田井間の宿

格子戸の家が続く、風情ある街並。



茂田井間の宿「石割(原)坂」 急な坂道が続く、街道の難所。





# 芦田宿と松並木

## 中山道



信濃国	上野国	武蔵国	東京都
長野県	群馬県	埼玉県	1
19 18	17 16 15 14 13 12 11	10 9 8 7 6 5 4 3 2	板橋宿 蕨宿
沓掛宿	軽井沢宿 坂本宿 松井田宿 安中宿 板鼻宿 高崎宿 倉賀野宿 新町宿	本庄宿 深谷宿 熊谷宿 鴻巣宿 桶川宿 上尾宿 大宮宿 浦和宿	2
38 37 36 35 34 33 32 31 30 29 28 27	26 ●	25 24 23 22 21 20	追分宿 小田井宿 岩村田宿 塩名田宿 八幡宿 望月宿 茅田宿
上松宿 福島宿 宮ノ越宿 敦原宿 奈良井宿 費川宿 本山宿 洗馬宿 塩尻宿 下諏訪宿 和田宿 長久保宿	● 芦田宿	26 ● 望月宿 八幡宿 塩名田宿 茅田宿	
美濃国	岐阜県	信濃国	
長野県		長野県	
58 57 56 55 54 53 52 51 50 49 48 47 46 45 44 43 42 41 40 39		42 41 40 39	須原宿 野尻宿 三留野宿 妻籠宿 馬籠宿 落合宿 中津川宿 大津宿 細久手宿 御嶽宿 伏見宿 太田宿 鶴沼宿 加納宿 河渡宿 美江寺宿 赤坂宿 垂井宿 関ヶ原宿
山城国	近江国	滋賀県	
京都府	滋賀県		
69 68 67 66 65 64 63 62 61 60 59			今須宿 柏原宿 醒井宿 番場宿 鳥居宿 高宮宿 愛知川宿 武佐宿 守山宿 草津宿 大津宿 京三条大橋

### 中山道六十九次（江戸時代）

## 中山道 芦田宿

芦田宿は、芦田(依田)氏の浪人岩間忠助と土屋右京野左衛門が、神官今井曾五郎とともに慶長2年(1597)蓼科神社に納めた文書により新駅の設定を願ったことが伺え、中山道の宿場としては北佐久地域で最も古くとも云われています。宿場の中心にある本陣では、大政奉還、明治維新に至るまでの間、諸大名や公家などが休泊しました。文久元年(1861)14代將軍家茂に嫁いだ仁孝天皇の皇女和宮東下の際には、遠くは長野市周辺からも助郷の動員が記録に残されています。寛政12年(1800)に建て替えられた旧芦田宿本陣は、当時の面影を色濃く残して今なお現存しており、200年を越える客殿は長野県宝に指定(昭和63年・1988)され、京風づくりの貴重な数寄屋として大切に保存されています。



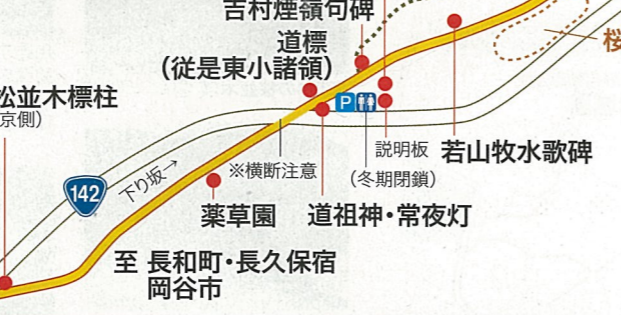
旧芦田宿本陣は、昭和63年(1988)長野県宝に指定された。玄関屋根は切妻造りで正面に唐破風をつけており、座敷部の屋根は妻入瓦葺構造である。内部は建坪80坪に上段の間等を配し、優れた意匠の京風な造りとなっている。



枡形跡(京側) 枡形とは、街道を鍵の手に折り、外敵の侵入に備えたもの。  
枡形跡(江戸側)  
蛇石様 ここにお参りすると、乳呑児の夜泣きが治るとされる。



峠の茶屋 説明板 道祖神と常夜灯(復元) 宿場レリーフ(あし田) 皇女和宮東下の行列 旧道出入口(京側)



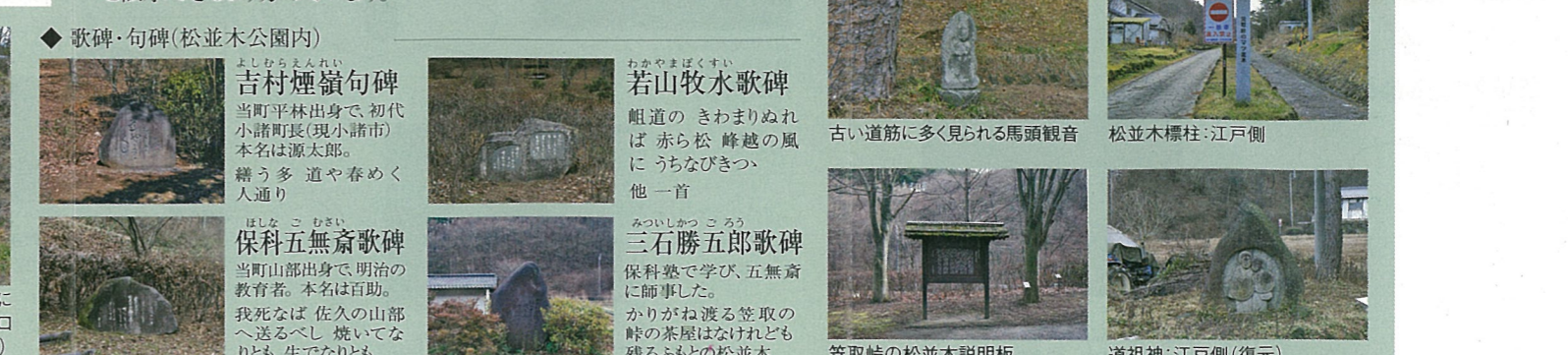
## 松並木公園

平成5年(1993)に完成した史跡公園で、江戸時代から笠取峠頂上の茶屋にあったとされる金明水をはじめ、小県と佐久の境界を示す道標(従是東小諸領)、道祖神や常夜灯が復元され、町民や旅人の憩いの広場となっています。また、公園内には当町にゆかりのある歌人の句碑や若山牧水の歌碑が置かれ、旅人の安全を見守る道祖神も点在しています。



## 笠取峠の松並木

県天然記念物(延長約1km) 笠取峠のマツ並木(昭和49年指定)  
江戸幕府の植樹政策により、慶長9年(1604)頃に植樹されたものと地元では口伝され、弘化2年(1845)には602本の補植の記録が残っています。その後の調査では、大正13年(1924)に229本、昭和46年(1971)には129本が確認され、平成22年(2010)3月現在では70本の古木が現存しています。当町では、江戸時代から脈々と続く松並木周辺を公園化し、大切に後世へと伝承できるよう努めています。



すずらん学級運営委員会  
立科町公民館 立科町教育委員会  
TEL.0267-56-2311代  
http://www.town.tateshina.nagano.jp  
立科町携帯サイト

※立科町文化財めぐり・ふるさとウォーキングMAPも併せてご利用ください。